

東北支部 第57回学術大会 報告 (第9回東北放射線医療技術学術大会)

実行委員長 齋 政博

令和元年10月26日、27日の2日間、坂本 博 大会長(東北大学病院)のもと、仙台国際センター 展示棟において第57回学術大会(第9回東北放射線医療技術学術大会)を開催いたしました。

今回の大会テーマは、『 Beyond all Radiversity 』～ マルチモダリティの聲 ～とさせていただきます。放射線診療のマルチモダリティ化は、現在当然のことと言えますが、我々は様々なモダリティをどのように診療に活かし、そして、どのように教育をしていくかが求められています。これらについて様々な観点から考え、モダリティを超えてディスカッションをし、進むべき道を導き出すことを目標と致しました。

一般演題117題のほか、大会企画として17テーマを設け、534名の参加登録がありました。合同学術大会の趣旨のもと、多くの参加者がディスカッション出来る場を設け、各会場では熱のこもった意見交換が行われました。今回の市民公開講座は、仙台市との共催でピンクリボン講演会とし、東北大学病院乳腺外科 石田孝宜先生の講演のほか、マンモグラフィ装置を会場に設置し、市民の方々にマンモグラフィ検診の概要をデモンストレーション形式でレクチャーいたしました。会場には200名を超す来場者があり、乳癌についての関心の高さが伺えました。

今大会は、大会専用ホームページ、大会アプリ、演題登録システムの構築など様々な新しい試みを行いました。会員の皆様には、ご不便をお掛けしたかと思いますが、大会の開催負担軽減と省力化のためご理解いただければと思います。また、ランチョンセミナーをはじめ、企業展示に協賛いただきました企業の皆様には改めて御礼を申し上げます。

大会要項

- 会期 : 令和元年10月26日(土)～10月27日(日)
会場 : 仙台国際センター
テーマ : 『 Beyond all Radiversity 』～ マルチモダリティの聲 ～
参加者数: 534名(会員457名 学生:44名) 情報交換会:196名
内容 : ① 一般演題発表 117演題 セッション数24(応募118演題 取り下げ1演題)
内訳 青森(17)、岩手(5)、秋田(14)、宮城(40)、山形(8)、福島(19)、新潟(10)、東北以外(4)
② 特別講演 1題
③ 市民公開講座 1題
④ シンポジウム 4題
⑤ 大会長講演 1題
⑥ 入門セミナー 4題
⑦ JART企画 3題
⑧ JSRT企画 2題
⑨ 大会長企画 1題
⑩ ハンズオンセミナー(線量管理システム) 2社
⑪ ランチョンセミナー 7社
⑫ 企業展示 25社
⑬ バナー広告掲載 11社
⑭ 寄付 6社
開催協力: 展示協賛25社 広告協賛11社 ランチョンセミナー7社 ハンズオンセミナー2社
寄付6社 仙台市
広報協力: 日本放射線技術学会 日本放射線技師会各県技師会